

第4章 飯塚駅周辺地区整備に向けて

4.1 飯塚駅周辺地区整備基本計画のコンセプト

上位関連計画の「飯塚市都市計画マスタープラン改訂版」(令和4年2月)は、まちづくりの方針の一つに広域拠点と暮らしの拠点の維持・充実を掲げ、飯塚駅周辺地区は中心拠点と位置づけています。中心拠点は、筑豊都市圏の中心的役割を担うエリアとして、既存の機能集約の維持・充実を図るとともに、大規模集客施設の立地を誘導し、市域全体発展の牽引することとしております。加えて中心拠点は、拠点間の移動や広域連携を視野に入れたまちづくりを進めるため、交通ネットワークの要衝としての機能強化を図り、交通結節点や公共施設、公園などの人が多く集まる施設及びその周辺におけるバリアフリー化などを進め、中心拠点にふさわしいまちづくりを推進することとしています。

このまちづくりの方針に整合した、今後の飯塚駅周辺地区のまちづくりの指標となる基本的な考え方を定めた「菰田・堀池地区活性化基本方針」を平成30年12月に策定しており、この基本方針を実現していくため、飯塚駅周辺地区整備計画のコンセプトは基本方針のコンセプトを踏襲し、「交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくり」とします。

上位計画やJR飯塚駅周辺地区活性化を考える会からの提言を踏まえ、菰田・堀池地区のまちづくりの方針を実現するために、まちづくりのコンセプトを定めます。

交通ネットワークを活かした賑わいのある拠点づくり

『地域の利便性向上につながる賑わいの場』

- ◆周辺地域に暮らす人々にとって必要な機能を誘導することにより生活利便性の向上を図り、地域の賑いの場を生み出します。
- ◆この地域が将来にわたって中心的な拠点として発展するよう、多様な都市機能の誘導を図ります。

『みんなに開かれた潤いの場』

- ◆魅力あるオープンスペースを確保し、ゆとりある市民に開かれた潤いの場を創出します。
- ◆子どもから高齢者までの地域住民や、若者等の多くの人々が憩い学ぶことにより、市が目指す「健やかな暮らしと活力に満ちたまち」の実現に寄与する空間とします。

『新しい暮らしが生まれる集いの場』

- ◆「健幸で魅力あふれるまちづくり」の実現に寄与する場とします。
- ◆子育てや健康づくり等、市民の新しい生活を支え、いきいきと暮らせる集いの場を創出します。
- ◆JR飯塚駅への近接性、エリアの中心拠点性を活かし、人口密度の維持に資する新しい暮らしを生み出す空間を創出します。

図一 4.1 菰田・堀池地区活性化基本方針(平成30年12月策定)のコンセプト

4.2 まちづくりの目標と整備構想

飯塚駅周辺地区整備基本計画は、「交通ネットワークを活かした賑わいある拠点づくり」のコンセプトのもと、3つの目標を設定します。

【目標 1】

飯塚駅を拠点とした都市機能の充実と交通結節点機能強化によるコンパクトな市街地の形成

【目標 2】

移動等円滑化促進地区である飯塚駅周辺地区のバリアフリー化を進め、回遊性、利便性及び安全性を向上

【目標 3】

飯塚駅東西アクセスを強化し、駅東西の一体整備による活性化及び賑わいを創出

4.2.1 飯塚駅周辺地区の整備構想

3つの目標達成に向けた飯塚駅周辺地区の整備構想は以下のとおりです。

(1) 中心拠点にふさわしい交通結節点の利便性及び安全性の向上

駅機能と道路機能の機能強化を行うことで、交通結節点としてのアクセス性の向上と安全な空間を形成し、恵まれた交通ネットワークを活かした地域の活性化を目指します。

(2) すべての人が円滑に移動できる安全・安心なまちづくり

先導的共生社会ホストタウン自治体として、積極的にユニバーサルデザインの環境整備を行い、誰でも利用しやすい安心安全な住環境を形成し、地区内の定住人口及び交流人口の増加、回遊性の向上を図ります。

(3) 未利用市有地の有効活用と快適な都市機能整備による賑わいの創出

地域の潤いの場の形成及び民間投資への波及効果を促す環境整備(道路・公園)を行い、飯塚駅と連携した事業を展開することで、当該周辺エリアの魅力を向上させ、観光、地域交流等の中心拠点として更なる充実を図り、地域の賑わいを創出します。